

会 議 録

平成 27 年 1 月 5 日調製

審議会等名	平成 26 年度 第 3 回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成 26 年 11 月 27 日 (木) 午後 3 時～ 4 時 50 分		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 (10 人) 阿部 凉子委員 (議長) 阿久津 文雄委員 (副議長) 土屋 文舟委員 桑原 理委員 安藤 正之委員 佐藤 英夫委員 倉品 章委員 米山 文子委員 石原 房子委員 石黒 正晴委員		
	職員 (8 人) 長谷川生涯学習課長兼中央公民館長 長橋嵐南公民館長 鈴木本成寺公民館長 高波栄公民館長 石田大島公民館長 佐藤井栗公民館長 金子生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐兼三条東公民館長 阿部生涯学習推進係長		
議 題	(1) 平成 26 年度新潟県社会教育委員表彰受賞報告について		
	(2) 第 53 回中越地区社会教育研究集会三条大会実績報告について		
	(3) 第 45 回関東甲信越静社会教育研究大会参加の報告について		
	(4) 教育委員との懇談会について		
	(5) 今後の公民館の在り方について		
	(6) その他		
会議内容	別紙のとおり		

阿部議長	<p>これより、平成 26 年度第 3 回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催します。皆様どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、最初に長谷川生涯学習課長から御挨拶をお願いします。</p>
長谷川生涯学習課長	<p><課長挨拶></p>
阿部議長	<p>ありがとうございました。それでは、本日の会議は、三条市社会教育委員会議運営規則及び三条市公民館運営審議会規則に基づき、私の方で会議を進めさせていただきますので御協力をお願いします。</p> <p>それでは、議題にあります報告事項として（１）、（２）がありますが、（３）として第 45 回関東甲信越静社会教育研究大会に阿久津副議長が参加されましたので、その報告をよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、お手元の次第に沿って、進めさせていただきます。最初に報告事項の（１）から（３）まで事務局から全体の説明をしてもらい、その後、御質問、御意見をいただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。それでは、事務局、お願いします。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>平成 26 年度新潟県社会教育委員連絡協議会表彰受賞者の報告をします。</p> <p><資料 No. 1 >平成 26 年度新潟県社会教育委員連絡協議会表彰者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿部 涼子議長 ・安藤 正之委員
阿部議長	<p><受賞の挨拶></p>
安藤委員	<p><受賞の挨拶></p>
阿部議長	<p>それでは、次の（２）第 53 回中越地区社会教育研究集会三条大会の実績報告をお願いしたいと思います。</p>
金子生涯学習課長補佐	<p>9 月 3 日に開催された第 53 回中越地区社会教育研究集会三条大会の概要を報告します。</p> <p><資料 No. 2 > 第 53 回中越地区社会教育研究集会 三条大会の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演概要及び各分散会記録 ・アンケート結果について
阿部議長	<p>（２）の報告が終わりました。それでは、阿久津副議長から報告（３）の第 45 回関東甲信越静社会教育研究大会参加の報告をお願いします。</p>

阿久津副議長	<p>11月20日、21日と鎌倉市で開催された第45回関東甲信越静社会教育研究大会に行ってきた。</p> <p>全体で900人集まりましたが、大変な研究大会であると感じました。</p> <p>「今、社会教育にできること、私たちにできること、地域社会に貢献する社会教育委員のすがた」をテーマに行われましたが、最初に、オリンピックで活躍された柔道の山下泰裕さんの講演がありました。私が感じたことは山下さんの言うとおりに、選手養成だけでなく人間的な意味でも教育できなければならないと私もそう思いました。その中で、「自分は勝とう勝とうという選手を育ててきたが、人間的な意味も含めて大選手にしてやらなければならない」と納得したという話がありました。それから、分科会や社会教育委員に対するシンポジウムなど例年同じですが、社会教育委員の役割、実際の活動、地域とのつながり、悩みなど、いつも同じことの繰り返しでこれといったパターンがないようにも思いました。</p> <p>事例発表では、社会教育委員が核になって活動している事例があり、すばらしいと思いました。大変参考になりました。ありがとうございました。</p>
阿部議長	<p>それでは、報告事項(2)、(3)について、質問、感想がありましたらどうぞ発言してください。</p> <p><特になし></p> <p>では、本日の議題に移ります。教育委員との懇談会について資料No.3の説明をお願いします。</p>
金子生涯学習課長 補佐	<p><資料No.3></p> <p>前回、平成26年2月19日に行われた第一中学校、嵐南小学校等の視察及び懇談会の実施状況を報告</p> <p>今後の開催予定は、平成27年1月の教育委員会定例会後で調整する旨を説明。</p> <p>また、その際に話し合うテーマについて、社会教育委員の方から意見をいただきたい旨を説明。</p>
阿部議長	<p>ありがとうございました。本日の議題の中で、(4)教育委員との懇談会については、一番意見をいただきたい議題です。</p> <p>教育委員との懇談会については、もう3年越しでございまして、社会教育委員と教育委員の懇談会を毎年一回は、恒例として行っていきたいという意見を出していました。中越地区や県内でも社会教育委員の研究大会に行きますと最近は多くの市町村で、社会教育委員と教育委員の方々と年に一回、二回は懇談会を行っています。それから、何年も行っているところは、懇談会の後に懇親会も行っているというような報告を研究会で話していました。</p>

	<p>昨年は、説明のとおり、教育委員長と教育長の二人と話をしました。テーマは小中一貫教育の概要の説明、小中一貫教育と社会教育との連携についての意見交換をしましたが、それについて進展はありませんでした。</p> <p>今年の開催日程については、1月の教育委員会定例会後を第一に、もし、だめであれば2月、3月の定例会後など、3月までの中で日程を決めていただきたいと思います。</p> <p>テーマについては、三条市の教育について、社会教育委員の立場として考えていることを中心に、皆様の中で日頃考えていることをまとめて、懇談会のテーマとして持っていきたいと思います。このことについて、御意見をいただきたいと思います。</p>
石黒委員	<p>他の会議で教育委員と話す機会があり、その時に、小中一貫教育の関係で、第一中学校や第二中学校で温度差があると伺いました。その辺で話し合いができるのではないかと思います。</p>
佐藤委員	<p>社会教育委員に対して何を求めているのか、そういう考えがあるのであれば教えてほしいですし、ないのであれば社会教育委員の好きにしているのかという本音の部分を知りたいと思います。</p>
安藤委員	<p>生涯学習課が教育委員会から離れ、社会教育委員会と公民館運営審議会が一つになった中で、取り扱うテーマも大きくなり状況も変化しているので、教育委員会からの社会教育委員の立場が不明瞭になっていると思います。懇談会の中で、三条市の教育界で社会教育委員はどのような位置付けなのかお伺いしてはどうでしょうか。また、三条市市民部に生涯学習課がある中で社会教育委員が研鑽していくテーマは生涯学習だと思いますので、テーマに生涯学習という言葉を含んでいただければと個人的には思います。</p>
阿部議長	<p>社会教育委員と生涯学習課が市民部に移ってから、教育委員会との連携がとりにくくなっていると思います。私たちからすれば社会教育委員が地域交流に入っていくべきだと思いますが、学校を中心とした地域交流について社会教育委員が知らないことが多いですし、逆に、三条市の社会教育の範囲は公民館だけでなくものすごく広いわけで、教育委員会も社会教育委員が何をやっているか分からないと思います。</p> <p>ですから、教育委員会と社会教育委員との連携をどうしていったら良いかというテーマを、私は出した方が良いと思います。その中で、今の意見が出てくると思います。</p> <p>他に御意見ありませんでしょうか。御意見がないようでしたら、今ほど意見のあった、社会教育委員に何を求められているのか、三条市の教育界の中で社会教育委員はどのような位置付けなのか、学校教育と社会教育の連携について、学校と地域の連携についてをテーマとして持っていきたいと思います。事務局</p>

金子生涯学習課長 補佐	<p>の方で何かありますか。</p> <p>教育委員会と社会教育の連携の在り方、学校と地域との連携の中で社会教育委員がどう協力したら良いのかということのように思えます。</p>
長谷川生涯学習課 長	<p>教育委員さんとの懇談会では、建設的な見地から社会教育委員と教育委員の連携・協力の部分でお話をされてはいかがかと思えます。</p>
阿部議長	<p>分かりました。そういうことで事務局の方でまとめていただき、皆様、日程が決まりましたら全員参加できるようにお願いします。</p> <p>それでは、議題（5）に移ります。 今後の公民館の在り方について、事務局から説明をお願いします。</p>
阿部生涯学習推進 係長	<p><資料 No. 4 > 今後の公民館の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の現状、公民館の全国的な流れ ・これまでの経緯と背景 ・公民館の課題 ・参考例(長岡市・五泉市・十日町)
阿部議長	<p>今ほど、事務局から「今後の公民館の在り方について」どういう方向に進むべきかという非常に重い課題の説明がありました。</p> <p>私も第2次三条市生涯学習推進計画の策定委員として準備を進めてきました。来年度から平成34年度までの8年間を計画期間とする第2次三条市生涯学習推進計画の中でも「今後の公民館の在り方について」を検討するとの記載があります。</p> <p>このことは、来年度以降の新委員の皆様から審議をしていただくことになると思いますが、現委員の任期の中で、皆様の貴重な御意見を伺っておきたいという思いがありますので審議をお願いします。</p> <p>事務局から説明がありましたが、方向性として指定管理の方に進んでいきたいとのことでしょうか。</p>
長谷川生涯学習課 長	<p>そうではなく、公民館の在り方はダイナミズムに全国で変わってきています。例えば、学校の中に公民館があったり、公民館で野菜も売っている例があったり、地域コミュニティセンターで様々なことを行っている例もございます。</p> <p>どういう方向が良いのか、公民館の今後の在り方についてしっかり検討していかなければいけない事項であると考えています。</p>

阿部議長	<p>三条市の特徴として、各地区に公民館があり、市民生活に利用され、それが市の一つの良い方向として私は受け取っていました。ただ、資料からは、公民館をコミュニティセンターに変更したり、指定管理にしたりする方が良いというような印象を受けます。公民館は赤字ばかりだとか、社会教育法の縛りがあるとか、公民館が不要であるというようにも捉えられます。私は、三条市に大きな生涯学習センターが一つできれば、公民館はコミュニティセンターになっても良いと思います。ただ、それが、何もない中で、公民館が指定管理になってしまったら文化施設はどうなるのでしょうか。</p> <p>残すとしても、中央公民館、嵐南公民館、三条東公民館、栄公民館は地域の拠点として指定管理にされては困るのではないのでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>コミュニティの立場として、今の大崎公民館の建物は、30年くらい経ちまして、古くて壊れている場所があり、若者も集まってきません。もし、指定管理になれば、直営で運営するよりも人件費も投入するわけですから、その投入した人件費をコミュニティにいただいて、現在、公民館で行っている事業以外に、地域のための事業を行いたいと考えています。地域の方にとっては公民館でもコミュニティセンターであっても、使い勝手の良い、行きやすい場所が望ましいとコミュニティとして考えています。</p> <p>地区公民館は直営でなくても営利目的以外で、地域で手を挙げるところがあれば、移管しても良いのではないのかと勉強会をしているところです。</p>
阿部議長	<p>中央公民館や拠点公民館などは、今のような方法の場合、幅広く使えて、社会教育法の縛りもなく、コミュニティにとって使い勝手が良いというわけですね。</p>
佐藤委員	<p>例えば、土曜日、日曜日に誰か一人配置する体制が整えば、大崎公民館はより多くの地域の方に寄ってもらえると考えています。ただ、現在、大崎中学校の移転改築の問題が出てきましたので、そこでちょっと待たががかかっています。跡地利用が今後出てきますので、それと何か合わせたようなことができないかというのがあり、大崎公民館を今、指定管理にしては困るのではないかということで、現在、トーンダウンしています。</p>
倉品委員	<p>今、なぜこの議題が挙がってきたのか意味が分からないのですが、公民館を今後どうしようかというのをここで決めるということなのではないのでしょうか。あるいは、公民館の一般的な経緯と背景と課題を共有して、今後一緒に考えていきたいと思いますという意味なのではないのでしょうか。</p>
阿部生涯学習推進係長	<p>御存知のとおり、現在、次期総合計画を策定しています。その中で、施設の在り方については、このままで良いのかという視点も当然入ってきます。8年間の長いスパンのなかで、公民館が現状のままで、また8年間同じ体制でいく</p>

倉品委員	<p>とは限りません。他市や全国的な流れでは、様々な在り方や方法がございますので、今回、次回、そして次年度にかけて、皆様の考えをお聞きしながら方向性を見出していきたいと考えています。</p> <p>それを踏まえての意見交換なのですね。</p>
阿部議長	<p>資料では財政上の問題など、様々な理由で公民館が減少していることが出ていますが、総合計画の中で見直していきたいという意向もあるということなのですね。金子前課長のときに、分館についてはできればコミュニティで指定管理を進めていきたいという話を聞いた覚えがあります。</p>
長谷川生涯学習課長	<p>各分館につきましてコミュニティ化をしていきたいという方向性の中で、三条市の新経営戦略プログラムに、建物を無償譲渡することを可能とする施設の中に各分館が挙げられております。ただし、土地については購入が必要であることから、地域コミュニティでは高額なため購入できず、現実的には難しく、現状で地域コミュニティとは違う方法があるのであれば、こういった方法があるのかを協議していかなければならない状況にあります。</p> <p>そういったことがありまして、金子前課長がいろいろなところに声をかけましたがそのような縛りがあり、現実にはなかなかうまくいかず、現在このような状況になっていると理解しています。</p>
米山委員	<p>これから三条市も人口が減少し、高齢化率が上がっていくのも確実だと思いますが、現状の公民館に若い人や子どもがある程度来ようであれば維持していくことも必要だと思います。三条東公民館や下田公民館のような新しくてきれいなところへは行きたいと思いますが、大崎公民館のように施設がボロボロで、ハード部分がいくら残っていても人が集まらなければ維持するのは難しいと思います。特に、これまで使っていた人たちも年を重ねて、今は公民館に出かけて行って活動ができていても、それがままなくなる人がおそらく増えるだろうと思います。その人たちが去った後で、新しく若い人や子どもが多く利用することは、なかなか期待できないと思います。現状で、少しでも施設をうまくたんでいくことを考えていくのが基本だと個人的に思います。そのたみ方として、今まで使っていてこれからも使っていきたい人が一人でもいるのに、バタバタとたたむのは筋が違うと思います。その方法については、公民館を利用されている方々の意見を聞いたほうが良いと思います。</p>
阿部議長	<p>例えば、コミュニティセンターにして、社会教育法の縛りはずし、いろいろな幅広い利用が可能となり収益が増えるという意味では、私は公民館の名前にこだわらなくても良いと思います。</p> <p>もう一つは、三条市の文化施設や、教育施設全体を見たときに必要なものもあるのではないかと思います。</p>

公民館がないのならば、他の市町村のように三階、四階建ての建物で、そこを拠点とした三条市の社会教育全体の活動ができるようなものが三条市にもあれば考え方も違ってくると思います。

劇場もない、美術館もない、何もない中で、慎重に残すものは残して、代わりのものができるのであれば、代わりのものは市全体のことを考えたものであってほしいと思います。

地区館の方は、大崎公民館のような使い勝手の良い誰でも寄れるようなやり方も大事かなと思います。

他に御意見はありますか。御意見がないようでしたら今年度は3月にもう一回、この会の開催が予定されていますので委員の皆様にはあらためて御意見をいただきたいと思います。

次に、議題（6）その他について、事務局から何か説明がありましたらお願いいたします。

<特になし>

それでは、せっかくの機会ですので、委員の皆様から何か質問・意見などありましたらお願いいたします。

<特になし>

本日、用意された議題について無事終了することができました。

スムーズな進行に御協力いただきありがとうございました。

なお、本日の社会教育委員会議・公民館運営審議会の記録につきましては、生涯学習課職員が作成した記録に基づき、私と事務局が確認の上、会議録として調整させていただきますので御了解ください。

最後に、阿久津副議長から閉会の挨拶をお願いします。

<阿久津副議長 閉会の挨拶>